

Awards

◆受賞者紹介◆

受賞者 ● 松田 隆志 (まつだ たかし)

ワイヤレスネットワーク研究所 ディベンダブルワイヤレス研究室 研究員

◎受賞日：2014/5/30

◎受賞名：若手研究奨励賞

◎受賞内容：生体内センシングのためのシート状媒体通信システムの評価

◎団体名：一般社団法人 電子情報通信学会
知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会

◎受賞のコメント：

近年、センサの小型化・低消費電力化にともない、スポーツ技術の向上や健康促進のために生体センシングが注目されています。本研究では、電磁波を伝播させることができる柔軟なシート媒体を用いて、生体センシングのためのセンサ情報の収集やセンサに対しての給電をケーブルフリーで実現し、日常生活で使えるウェアラブルセンシングシステムへの応用を目指しています。本受賞に際しご協力くださいました方々に感謝申し上げます。



左から大槻知明氏(研究会専門委員長)、松田隆志

受賞者 ● Ved Prasad Kafle (ベド プラサド カフレ)

光ネットワーク研究所 ネットワークアーキテクチャ研究室 主任研究員

福島 裕介 (ふくしま ゆうすけ)

光ネットワーク研究所 ネットワークアーキテクチャ研究室 研究員

原井 洋明 (はらい ひろあき)

光ネットワーク研究所 ネットワークアーキテクチャ研究室 室長

◎受賞日：2014/6/5

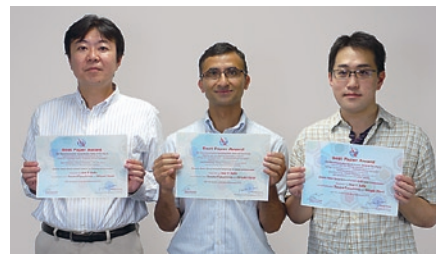
◎受賞名：Best Paper Award

◎受賞内容：Dynamic Mobile Sensor Network Platform for ID-based Communication

◎団体名：ITU Kaleidoscope Academic Conference 2014

◎受賞のコメント：

将来ネットワーク技術の標準化を推進するITUより受賞論文に選定いただき、非常に嬉しく思います。本論文では、従来のセンサネットワークで困難な、広域にセンサを配置した後の動的制御や移動通信を可能とするID・ロケータ分離ネットワークHIMALISに基づいたプラットフォームを提案しました。提案技術により、センサがネットワークを移動しても、遠隔端末から設定情報、データ取得間隔の変更が容易となり、シンクサーバへのデータ送受信を安全に行うことが可能となります。



左から原井洋明、Ved Prasad Kafle、福島裕介

受賞者 ● 内山 将夫 (うちやま まさお)

ユニバーサルコミュニケーション研究所 多言語翻訳研究室 主任研究員

隅田 英一郎 (すみた えいいちろう)

ユニバーサルコミュニケーション研究所 副研究所長

◎受賞日：2014/6/17

◎受賞名：第9回AAMT長尾賞

◎受賞内容：語順変換と訳語選択との独立実行による統計翻訳技術の研究開発実用化ならびに複数企業への技術移転による高性能機械翻訳システムのサービス実現による功績が顕著であるため

◎団体名：アジア太平洋機械翻訳協会 (AAMT)

◎受賞のコメント：

今回の受賞は、「特許やマニュアルなど長文を正確に翻訳するために必要となる新技術の研究、ならびに、同技術に基づく高性能機械翻訳システムの実用化」の功績が顕著であると評価されたものです。本受賞は、研究・開発と成果展開の双方を重視するNICTの活動が評価されたためと思います。ご協力いただいた関係各位に感謝申し上げます。



左から隅田英一郎、内山将夫

受賞者 ● 富田 二三彦 (とみた ふみひこ)

理事

◎受賞日：2014/6/23

◎受賞名：情報通信技術賞 TTC会長表彰

◎受賞内容：スマートコミュニケーション社会の推進及びその基盤となる国際標準化団体 oneM2Mの設立にかかわる功績

◎団体名：一般社団法人 情報通信技術委員会 (TTC)

◎受賞のコメント：

2008年からTTCに出向して以降の活動に対する受賞です。国際標準化は目標ではなく、国際競争力強化のためのツールであるという視点で、様々な企業の多くの皆さんとの協働作業を代表して評価していただきました。これからのスマートコミュニケーション社会では、業際的な(業界横断的な)ICTイノベーションが重要なので、今後も引き続き、自動車や健康や防災など様々な業界団体との連携をNICTのソーシャルビッグデータICT推進プロジェクトの中で進めていきたいと考えています。

